

信州大学医学部附属病院 腎臓内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年10月2日

「日本腎生検レジストリーを利用したわが国における巣状分節性糸球体硬化症の variant の予後についての二次調査」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4184
研究課題名	日本腎生検レジストリーを利用したわが国における巣状分節性糸球体硬化症の variant の予後についての二次調査
所属(診療科等)	腎臓内科
研究責任者(職名)	上條 祐司(准教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2022年12月31日
研究の意義、目的	FSGS の variant の違いによる臨床的特性と予後についての解析は、わが国の FSGS 診療における重要な疫学的な資料となることが期待されます。
対象となる患者さん	2010年1月から2013年末に当院にて腎生検を行いFSGSと診断された方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など
他機関への試料・情報の提供方法	(記録媒体、郵送、電子的配信 データベースへの登録等)により提供します
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、FSGS の各亜型と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	国立病院機構 千葉東病院 臨床病理診断部 部長 北村 博司 国立病院機構 千葉東病院 血液浄化センター センター長 首村 守俊 名古屋大学大学院医学系研究科 腎臓内科 教授 丸山 彰一 名古屋大学大学院医学系研究科 腎臓内科 尾関 貴哉

東北大学大学院薬学研究科臨床薬学分野 教授
日本腎臓学会 腎臓病レジストリー委員会 委員長
佐藤 博

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 血液浄化療法人材育成システム開発学 教授
日本腎臓学会 腎臓病レジストリー委員会 副委員長
杉山 斉

金沢医科大学 腎臓内科学 教授
日本腎臓学会 腎臓病レジストリー委員会 顧問
横山 仁

国立病院機構 福岡東医療センター 腎臓内科 内科部長
日本腎臓学会 腎臓病レジストリー委員会 委員
片渕 律子

兵庫県立西宮病院 病理診断科 部長
日本腎臓学会 腎臓病レジストリー委員会 委員
岡 一雅

大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 教授
平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業
ネフローゼ症候群ワーキンググループ 責任者
猪阪 善隆

既存情報の提供のみを行う機関

金沢医科大学腎臓内科 / 岡山大学 / 国立病院機構千葉東病院 / 長崎大学 / 福岡大学 / 新潟大学 / 東京女子医科大学腎臓小児科 / 和歌山県立医科大学小児科 / 東北大学 / 富山県立中央病院 / 大阪大学 / 川崎医科大学 / 香川大学 / 徳島大学小児科 / 信州大学 / 名古屋第二赤十字病院 / 京都大学 / 熊本大学 / 九州大学 / 東京都立小児総合医療センター / 筑波大学 / 名古屋大学 / 公立松任石川中央病院 / 田附興風会医学研究所北野病院 / 鳥取大学周産期・小児医学 / 帝京大学内科 / 北海道大学 / 旭川医科大学 / 北海道医療センター / 岩手県立中央病院 / JCHO 仙台病院 / 山形大学第一内科 / 水戸済生会総合病院 / 埼玉医科大学腎臓内科 / 埼玉医科大学総合医療センター / 獨協医科大学埼玉医療センター(越谷病院) / 東京女子医科大学第四内科 / 順天堂大学 / 昭和大学 / 昭和大学藤が丘病院腎臓内科 / 横浜市立大学附属市民総合医療センター / 富山市立富山市民病院 / 金沢大学 / 福井大学腎臓病態内科学 / 中濃厚生病院 / 静岡県立総合病院 / 富士宮市立病院 / 浜松医科大学 / 藤田保健衛生大学腎内科 / 愛知医科大学 / 名古屋市立大学 / あいち小児保健医療総合センター / 三重大学 / 大阪市立大学第二内科 / 大阪赤十字病院 / 大阪市立総合医療センター / 市立池田病院 / 豊中市立豊中病院 / 神戸大学 / 和歌山県立医科大学腎臓内科・血液浄化センター / 島根大学

	／ 倉敷中央病院 ／ 高知大学 ／ 福岡赤十字病院小児科 ／ 久留米大学 ／ 福岡東医療センター ／ 宮崎大学
研究代表者	主任施設の名称: 国立病院機構 千葉東病院 腎臓内科 研究責任者: 今澤 俊之 川口 武彦
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 上條 祐司(腎臓内科 准教授) 電話: 0263-37-2634

この研究は、厚生労働省が示した「臨床研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、日本腎臓学会によって構築された日本腎生検レジストリーのデータを使用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。